

# 株主の皆様へ

第 **74** 期

2024.4.1 ▶ 2025.3.31

証券コード 2676

## Contents

私たちこんな会社です！	1
連結財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
セグメント別の概況	5
トピックス	7
連結財務諸表	11
会社情報	13
株式情報	14



# 私たちこんな会社です！

高千穂交易は1952年に創業し、これまで世界の先端商品をいち早く日本に紹介してきました。

高い技術力に裏打ちされた当社ならではのトータルソリューションで、皆様の暮らしをより豊かなものにしていきます。

## 店舗

店舗犯罪対策のソリューションや、業務効率化・省人化を実現するサービスを提供しています。



商品監視ゲート



ネットワークカメラシステム



トラフィックカウンター

- 当社は、全社員の40%超がエンジニア系の社員です。高い技術力が強みで、コンサルティングからお客様の仕様にあわせた設計、設置、障害対応まで、ワンストップでサービスを提供しています。
- 従来のモノ売りからサービス型の販売にシフトを進め、クラウドサービスの販売を強化しています。

## オフィス・データセンター

セキュリティ・ネットワークシステムを構築し、オフィスやデータセンターの高いセキュリティ環境を実現しています。



クラウド型統合セキュリティ



クラウド管理型ネットワーク



リモートアクセス



設置・保守サービス



クラウドサービス



MSPサービス

## 住宅・家庭

自動車やスマートフォン、住宅設備等、身近なところへも導入されており、より快適な社会環境・生活環境を実現しています。



5G通信モジュール



シリコンマイク



引込・衝撃吸収用ダンパー

## 工場

半導体製造装置等の産業機器向けにお客様の要望に最適な電子部品や機構部品を、技術サポートと共にソリューションとして提供しています。



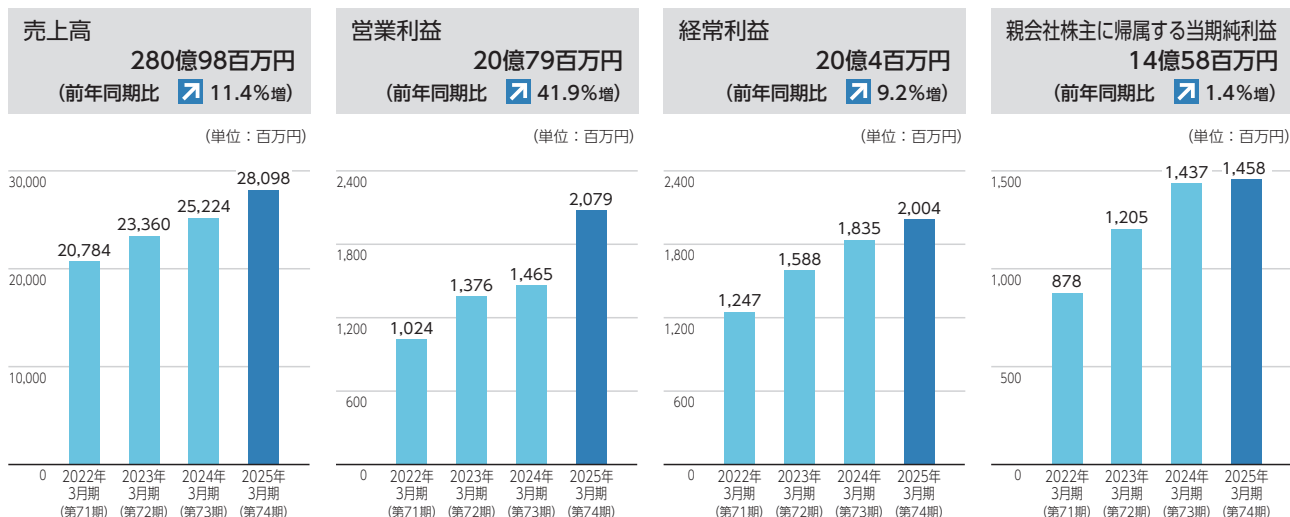
電源モジュール



スライドレール



ケーブルソリューション



### 2025年3月期(第74期)決算のポイント

#### 増収増益で、上場来最高益を更新し、中期経営計画数値目標達成

- ▶ デバイス事業の好調が売上を牽引
- ▶ 収益性改善
  - クラウドサービスのライセンス数増加や新規大口顧客獲得、保守価格改定
  - 外資系企業オフィス向けセキュリティシステムの売上伸長、前年度の防火システム事業の一過性費用の剥落
- ▶ 為替差損を計上しながら、当期純利益の中計の数値目標14億円を達成
- ▶ 1株当たり年間配当金は160円(中期経営計画達成による特別配当4円を含み、前年より2円増配)

### 次期見通しのポイント

#### 増収増益を計画

ビジネスセキュリティでは、データセンターやオフィス向けのセキュリティシステム、MSPサービス、サイバー・OTセキュリティへの注力や、アパレル市場向けRFIDシステムの拡販、エレクトロメカニクスでは、産業機器向け電子部品や住宅設備、及び遊技市場向け機構部品の拡販などによる事業成長で、増収増益を計画

売上高	<b>30,000</b> 百万円(前年同期比 6.8%増)
営業利益	<b>2,200</b> 百万円(前年同期比 5.8%増)
経常利益	<b>2,100</b> 百万円(前年同期比 4.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>1,500</b> 百万円(前年同期比 2.9%増)

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
当社第74期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の  
事業活動の概況をご報告申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長 **井出 尊信**



2025年3月期の総括を  
教えてください。

2025年3月期は「ニューノーマル時代における新たな価値創造」をスローガンとした中期経営計画2022-2024の最終年度にあたり、当社が推進してきた持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、コア領域における高収益事業の拡大やサービスビジネスの成長及び新事業・新ビジネスモデルの創出に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、売上高では、クラウドサービス&サポート商品類のサブスクリプション型ビジネスの契約数の増加や、エレクトロニクス商品類の販売が好調に推移しました。結果、売上高は、前年同期比11.4%増の280億98百万円、損益は上場来最高益を更新し、営業利益は前年同期比41.9%増の20億79百万円、経常利益は同9.2%増の20億4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、1.4%増の14億58百万円となりました。

また、セグメント別の業績では、クラウドサービス&サポートセグメントとシステムセグメントは増収増益、デバイスセグメントは増収減益となりました。詳細につきましては、P5・6の「セグメント別の概況」をご覧ください。



前中期経営計画の振り返りと新中期経営  
計画についてお聞かせください。

前中期経営計画につきましては、数値目標を達成することができ、とても嬉しく思っています。主な要因としては、半導体事業で商権の獲得や顧客密着型営業の成功やクラウドサービス&サポートで安定収益が増加したことだと考えています。資本収益性につきましても、KPIとしていた「ROE3期平均8%超え」を、2025年3月期で達成しました。この指標は、プライム市場の上場維持基準適合のための公約として掲げたものでしたが、事業成長と資本収益性の改善により、上場維持基準に安定的に適合している状況となっています。

具体的な成果としては、ロイヤルカスタマー戦略のKPIを達成し、顧客深耕が進んだことやサービスビジネスの成長により、安定収益が拡大したことが挙げられます。この点については、新中計でもマトリクス型の組織の導入や、営業力を強化することで、更に伸ばしていきたいと考えています。ただ一方で、新規事業については実績化に遅れがあり、新中計への課題が残る結果となりました。

また、社員の働きがいの向上については、平均年収の増加やテレワーク・フレックスなどの勤務制度の変更により、多様な働き方に対

応する体制を整えることができました。それにより、従業員意識調査の結果も向上しました。

更に従業員持株会への社員の加入が90%を超えたことは、経営への参画意識の高まりを感じており、今後もより社員がやりがいを持って働ける環境作りを目指していきたくと考えています。

新中期経営計画についてですが、その実現に向けて、当社の強みである目利き力、技術力、ワンストップサービス、お客様・仕入先との信頼関係を事業領域であるビジネスセキュリティ、エレクトロメカニクスにおいて発揮し、さまざまな社会課題、お客様課題を解決することを目指します。それによって、お客様から1st choiceされるソリューションプロバイダーになり、お客様とともに未来を描いていきたいと考えています。

事業戦略の大きな方向性については、前中計の数値目標達成や今後の経営環境を鑑みて、正しい方向性と判断したことから、前中計を踏襲し、アップデートするかたちに行っています。

詳細につきましては、P7のトピックスにてご説明させていただいておりますので、ご覧ください。



## 2026年3月期は どのような見通しですか？

新中期経営計画期間よりセグメント区分の見直しを実施し、「クラウドサービス&サポート」と「システム」を統合して「ビジネスセキュリティ」セグメント、「デバイス」セグメントを「エレクトロメカニクス」セグメントに名称変更致しました。

ビジネスセキュリティセグメントでは、フィジカルやクラウドサービス、サイバーなどのトータルセキュリティソリューションとコンサルティング、アフターサービスまでのワンストップサービスで、“ビジネスセキュリティなら高千穂交易”を目指してまいります。

具体的には、データセンターやオフィス向けセキュリティやアパレル市場向けRFIDシステムの拡販に加え、防犯クラウドサービスの立ち上げやロス対策コンサルティングを拡充してまいります。

エレクトロメカニクスセグメントでは、電子部品と機構部品の両分

野に精通していることを強みに幅広い商材ラインアップと技術サービスをワンストップで提供します。

具体的には、エレクトロニクス事業では、電源・通信・センサを強みに、産業機器分野への販売を強化し、加えて単なる商品の提供だけでなく付加価値の高いソリューションビジネスを強化します。また、東南アジアなどグローバル展開を図ります。メカニクス事業では、住宅設備市場、産業機器市場への注力、及び企画開発品を強化することで付加価値向上を目指します。

以上により、次期の業績につきましては、売上高300億円、経常利益21億円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を見込んでおります。



## 株主還元・配当方針について お聞かせください。

当社は、中期経営計画2022-2024において、ROEが中計初年度から3期平均で8%を達成するまでは配当性向100%を維持することを基本方針としております。

当該方針に基づき、当期末の配当金につきましては、当期業績を踏まえ、普通配当を98円、加えて中期経営計画2022-2024達成の特別配当を4円とし、1株当たり102円を実施することにより、年間配当は、中間配当(1株当たり58円)と合わせて、前期から2円増配の、1株当たり160円となります。

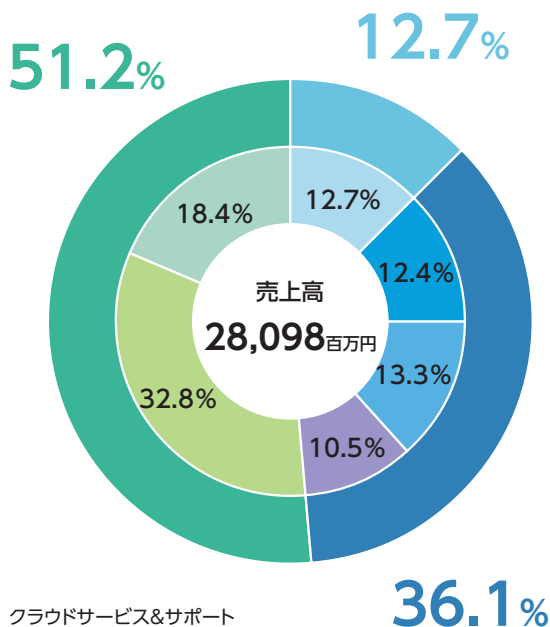
新中期経営計画2025-2027の資本政策では、「成長投資と株主還元の両立」を基本方針としており、2026年3月期は配当性向100%を継続、2027年3月期以降は累進配当制を採用し、現状の配当額を増額もしくは維持していく方針です。2026年3月期につきましては、連結業績予想に基づき、1株当たり80.5円(中間配当34.5円、期末配当46円)を予定しております。尚、2025年3月21日公表のとおり、2025年5月31日を基準日として、1株につき2株の割合をもって、株式を分割いたしました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## セグメント別の概況

2025年3月期は、前中期経営計画のセグメント区分で表示しております。

新中期経営計画より、P7に記載の通り、セグメント区分の見直しを行っています。



クラウドサービス&サポート  
■ クラウドサービス&サポート商品類

システム  
■ リテールソリューション商品類  
■ ビジネスソリューション商品類  
■ グローバル商品類

デバイス  
■ エレクトロニクス商品類  
■ メカトロニクス商品類

## クラウドサービス&サポート

売上高

35億59百万円

前年同期比

40.6%増



営業利益

7億76百万円

前年同期比

59.8%増



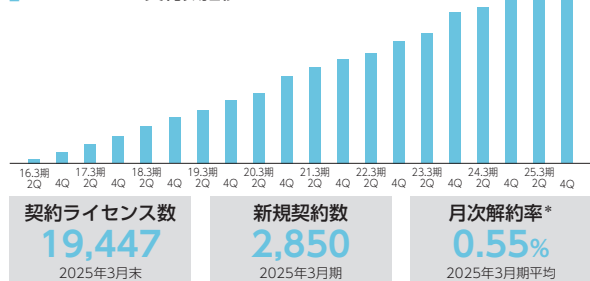
クラウドサービス&サポート商品類(前年同期比40.6%増)

クラウドサービス(MSPサービス含む)、システムセグメント内の商品の保守

クラウドサービス&サポートセグメントは、売上高は、MSPサービスやクラウド型ネットワーク商品の契約数の増加、及び大型保守契約の獲得により順調に推移し、前年同期比40.6%増の35億59百万円となりました。営業利益は、上記理由に加え、売上高に対する販売費及び一般管理費の割合が下がり、前年同期比59.8%増の7億76百万円となりました。

(※MSPサービス:クラウド商品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス)

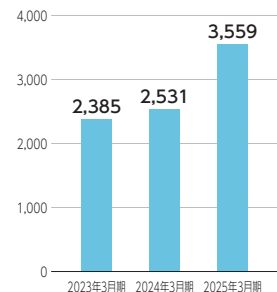
■ MSPサービス契約数推移



\*月次解約率:1ヶ月の契約解約数÷前月末の累計契約数

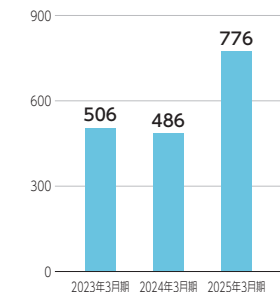
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



## システム

売上高

101億48百万円

前年同期比

3.0%増



営業利益

3億76百万円

前年同期比

4億6百万円増



リテールソリューション商品類(前年同期比7.2%増)

EAS(商品監視システム)、映像監視システム、ストアマネジメントシステム、ディスプレイセキュリティシステム、システム構築

GMS向け大型案件が好調に推移し、売上高は前年同期比7.2%増の34億76百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類(前年同期比4.3%増)

オフィス入退室管理システム、メーリングシステム、RFIDシステム、ネットワークシステム、システム構築

外資オフィス向け入退室管理システムや監視カメラシステムが好調に推移した一方、前期好調だったメーリングシステムの納品が減少したことなどにより、売上高は前年同期比4.3%増の37億29百万円となりました。なお、当連結会計年度よりシステムセグメントからクラウドサービス&サポートセグメントへ異動したクラウド型ネットワーク商品の売上高に関し、前年同期はシステムセグメントに5億82百万円含まれております。

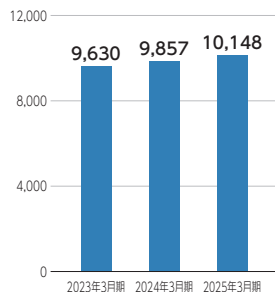
グローバル商品類(前年同期比3.2%減)

防火システム

防火システムにおいて収益性の高い案件に注力したことにより売上高が減少し、前年同期比3.2%減の29億42百万円となりました。

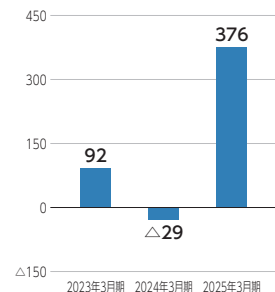
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)



## デバイス

売上高

143億89百万円

前年同期比

12.1%増



営業利益

9億26百万円

前年同期比

8.1%減



エレクトロニクス商品類(前年同期比10.4%増)

半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

コンシューマやビジネス機器向け電子部品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比10.4%増の92億14百万円となりました。

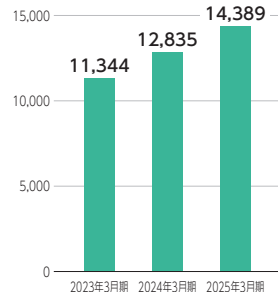
メカトロニクス商品類(前年同期比15.2%増)

スライドレール、ガスピリング、昇降システム、電子錠、ダンパーなど

新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品や複合機向け機構部品、及び自社開発したキッチン向け部品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比15.2%増の51億75百万円となりました。

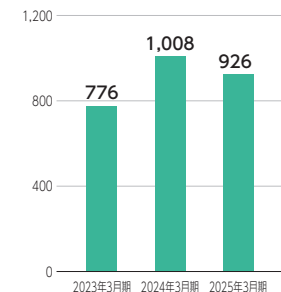
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)

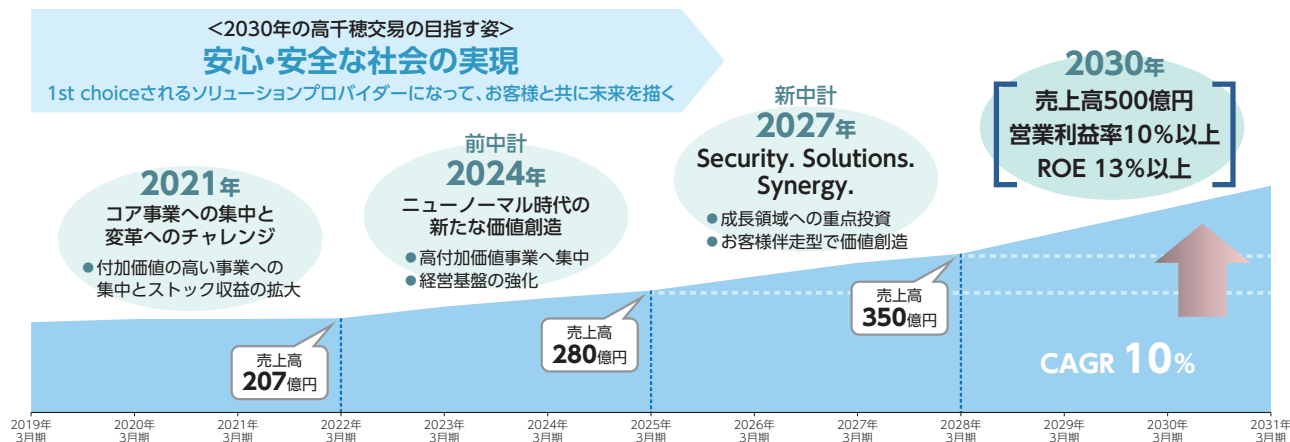


2025年3月21日、新中期経営計画2025-2027「Security. Solutions. Synergy. ~ビジネスセキュリティ×エレクトロメカニクスで、進化の最先端へ~」を公表いたしました。



中期経営計画ウェブページ

## 中長期の成長イメージと目指す姿



## 新中期経営計画のスローガンと基本方針

新中期スローガン、基本方針の下、全グループ一丸となり、  
持続的な成長と企業価値向上を実現することを目指してまいります。

<新中期スローガン> **Security. Solutions. Synergy.**

~ビジネスセキュリティ×エレクトロメカニクスで、進化の最先端へ~

基本方針:『注力事業への重点投資による事業成長』『お客様伴走型で共に新しい未来と価値を**創造**』

<KPI>2028年3月期 営業利益3,000百万円、当期純利益2,000百万円、ROE10%以上

### 高千穂交易の事業領域



ビジネスセキュリティ



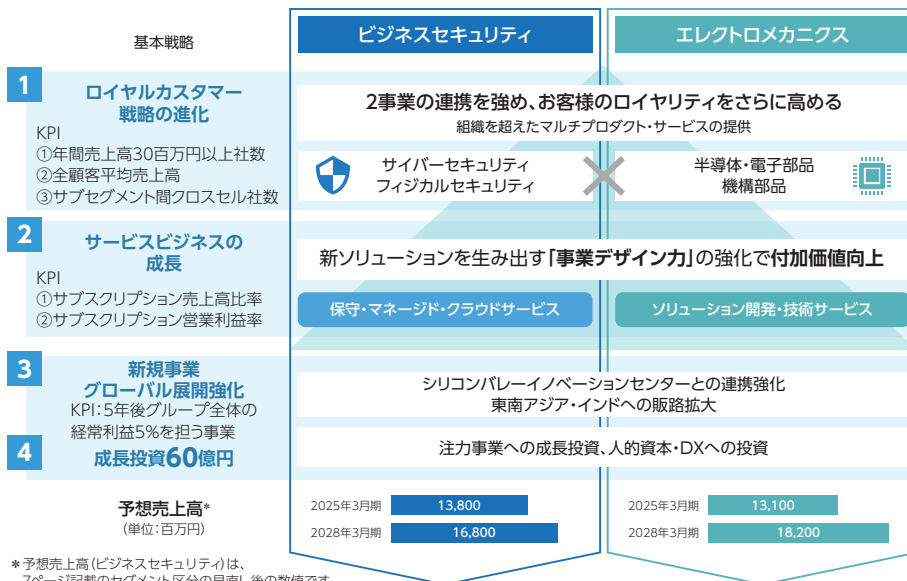
エレクトロメカニクス

### セグメント区分の見直し(2026年3月期以降)

1. ターゲット市場の明確化を目的として、「クラウドサービス&サポート」と「システム」を統合し、「ビジネスセキュリティ」セグメントとします。
2. 半導体事業(エレクトロニクス)と機構部品事業(メカニクス)が一体となって更なる成長を実現するため、「デバイス」セグメントを「エレクトロメカニクス」セグメントに名称変更します。

## 事業領域と基本戦略

- 2つの事業領域(ビジネスセキュリティとエレクトロメカニクス)の連携を強化し、全社を挙げて、プラチナ、ロイヤルのお客様のロイヤリティを高めめます。
- 前中計の数値目標を達成することができたため、基本戦略は、前中計を踏襲しアップデートする形としました。



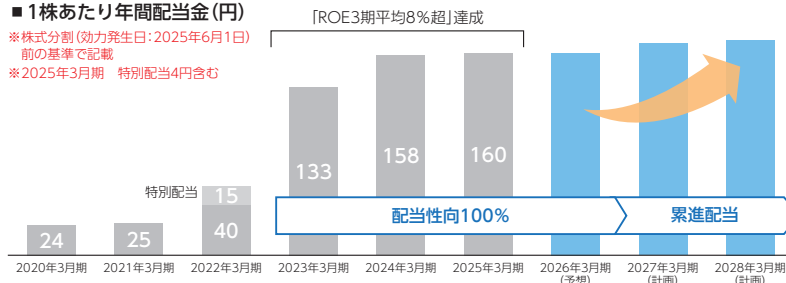
## 配当方針

資本政策の方針である「成長投資と株主還元」の両立に基づき、

- 財務健全性を確保しながら、積極的な投資による事業成長を目指す
- 2026年3月期は配当性向100%、2027年3月期以降は累進配当制を導入

### ■ 1株あたり年間配当金(円)

\* 株式分割(効力発生日: 2025年6月1日)前の基準で記載  
\* 2025年3月期 特別配当4円含む



## ガバナンス体制強化

### 1. 監査等委員会設置会社への移行

(移行の目的)

#### ① 意思決定の迅速化

取締役会の権限の一部を取締役に委譲し、意思決定の迅速化を図る。

#### ② 監督機能の強化

社外取締役が過半数を占める「監査等委員会」の設置および「監査等委員である取締役」に取締役会での議決権を付与することなどを通じて、業務執行者に対する取締役会の監査・監督機能を強化する。

#### ③ 内部統制の強化

新たに設置される「監査等委員会」と新たに組織化する「内部監査室」との連携を高め、内部統制の強化を通じて、当社の財務および業務の健全性と適切性の更なる向上を図る。

### 2. 内部監査室を新設

(理由・目的)

監査等委員会設置会社への移行に伴い、内部監査との連携を強化。内部統制およびガバナンス体制強化のため、従来の内部監査担当から内部監査室へと組織化。

### 3. 女性取締役の採用

(理由・目的)

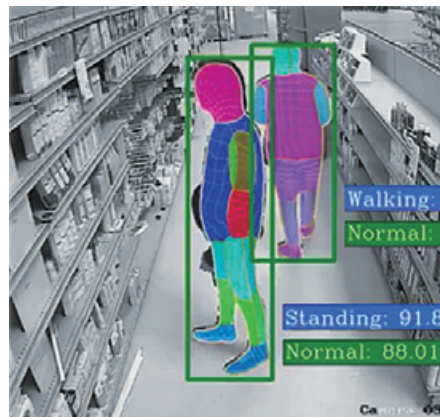
女性取締役を採用し、経営陣の多様性を高め、長期的な成長と競争力の促進を図る。

当社はこれまで店舗の万引防止対策として防犯ゲートやカメラ、顔認証システムなどを提供してきました。そして、新たなソリューションとして、AI映像解析技術で万引き行動を検知する「veesion(ヴィージョン)」を日本で初めて販売開始しました。ドラッグストアやキャラクターグッズ販売店などでも実績がでてきていますので、ご紹介します。

近年、AIによる映像解析技術の進歩により、防犯カメラの映像解析システムにも注目が集まっています。veesionはカメラの映像をAIで処理して、体の部位をパーツ別に自動で認識し、万引きに関連するジェスチャーを高度かつリアルタイムに検出するインテリジェント監視ソフトウェアです。2020年の本格展開からわずか5年間で世界55カ国6,000店舗に採用されています。

万引きに特化した動きを高精度で認識し、その映像がスマートフォンに通知されることで、これまでのような店舗スタッフなどの人による確認や大量万引き発覚後のカメラ映像チェックによる万引き確認とは異なり、システムによりリアルタイムで万引き発見が可能になります。

また、そのリアルタイムな情報検出により、これまでの確認手段では発覚しなかった万引きについても検出することができ、その通知データを蓄積し、万引き常習者を特定することも可能です。これにより、veesionは店舗責任者や警備担当者の負担軽減を可能にします。



# veesion

## veesionの特長

- 防犯カメラの映像から万引き行動を自動検知
- 検知した映像は、スマートフォンの専用アプリで即時確認が可能
- ダッシュボードで全店舗の検知データを管理(頻度・発生曜日や時間帯の傾向把握)
- 検知精度はディープラーニングによって継続的に向上します
- 既に設置している防犯カメラの映像を使用することができるため、費用を抑えられます
- 工業会 日本万引防止システム協会\*より推薦製品に認定

\*万引防止システムを製造、販売、サポートする企業の業界団体

当社はこれからも、製品のご提案やコンサルティングを通じて、シームレスに小売業のセキュリティ対策や省人化を支援してまいります。

## コーポレートサイトを全面リニューアル!!

ステークホルダーの皆様により快適に情報をご覧いただけるサイトを目指し、これまでにサイトから企業情報・サステナビリティ・IR情報を移行し、「コーポレートサイト(<https://corp.takachiho-kk.co.jp/>)」としてリニューアルしました。従来のサイトは製品・サービス情報を掲載する「製品サイト(<https://www.takachiho-kk.co.jp/>)」として運営いたします。



当社パーパス「**技術の力と、人へのやさしさで、空間に『新しい必要』をつくる。**」を基軸としたメインビジュアル



コーポレートサイト



製品サイト

また、本リニューアルに合わせて、トップメッセージ・トップメッセージ映像についても更新しましたので、ぜひご覧ください。

## 東京メトロ駅構内50カ所に広告看板の掲出スタート!!

新中期経営計画2025-2027の目標達成に向け、当社の認知度向上と人材採用の強化を目的に東京メトロ駅構内への広告掲出を開始しました。

当社パーパス「技術の力と、人へのやさしさで、空間に『新しい

必要』をつくる。」をメインメッセージとして、事業領域である「ビジネスセキュリティ<sup>※1</sup>×エレクトロメカニクス<sup>※2</sup>」で、もっと自由に、スピーディーに、誰もが自分らしく活動できる場所を創造していきたいという想いを込めています。詳細はプレスリリースをご覧ください。

<https://corp.takachiho-kk.co.jp/news/details.html?itemid=170&dispmid=750>

※1ビジネスセキュリティ:小売業や企業オフィス、データセンター等のビジネス領域で、セキュリティ商材・サービスを提供

※2エレクトロメカニクス:製造業に向けて、半導体(エレクトロニクス)・機構部品(メカニクス)を提供



■ 連結貸借対照表

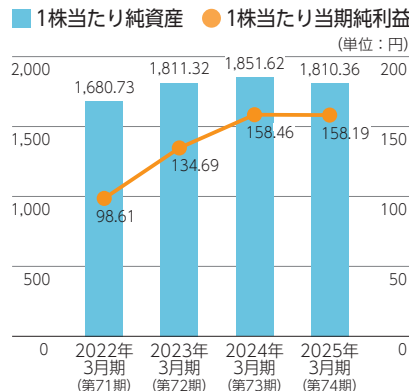
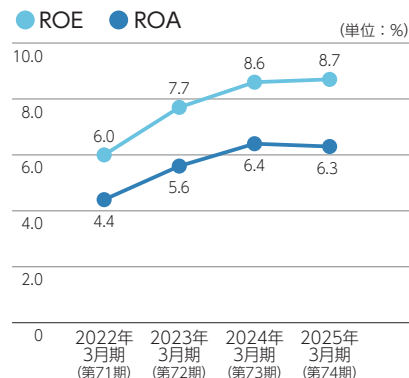
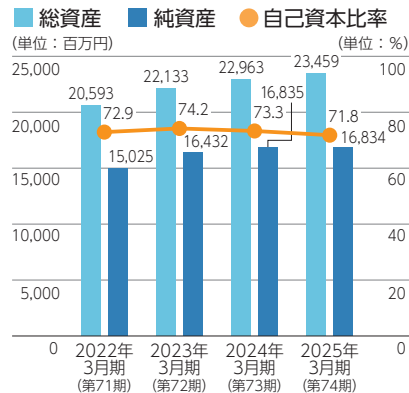
(単位：百万円)

科目	第74期 2025年3月31日現在	第73期 2024年3月31日現在	前期末比 (%)	増減
<b>(資産の部)</b>				
流動資産	19,206	18,887	1.7	319
固定資産	4,252	4,075	4.3	177
有形固定資産	403	459	△12.2	△56
無形固定資産	129	171	△24.3	△41
投資その他の資産	3,719	3,444	8.0	274
資産合計	23,459	22,963	2.2	496
<b>(負債の部)</b>				
流動負債	5,823	5,407	7.7	415
電子記録債務及び買掛金	3,232	2,924	10.6	308
固定負債	801	719	11.3	81
負債合計	6,625	6,127	8.1	497
<b>(純資産の部)</b>				
株主資本	15,431	15,464	△0.2	△33
資本金	1,209	1,209	0.0	0
資本剰余金	1,189	1,381	△13.9	△191
利益剰余金	13,893	13,938	△0.3	△45
自己株式	△861	△1,064	△19.1	203
その他の包括利益累計額	1,403	1,366	2.7	37
新株予約権	—	4	△100.0	△4
純資産合計	16,834	16,835	0.0	△1
負債純資産合計	23,459	22,963	2.2	496

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

CHECK POINT!

ROEは前年度に続き0.1ポイント増の8.7ポイントに改善し、中期経営計画目標の3期平均8%超を達成



## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第74期	第73期
	2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで	2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
売上高	28,098	25,224
売上原価	21,188	19,173
売上総利益	6,909	6,051
販売費及び一般管理費	4,830	4,585
営業利益	2,079	1,465
営業外収益	124	428
営業外費用	199	57
経常利益	2,004	1,835
特別利益	165	280
税金等調整前当期純利益	2,170	2,116
当期純利益	1,458	1,437
親会社株主に帰属する当期純利益	1,458	1,437

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第74期	第73期	増減
	2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで	2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで	
営業活動による キャッシュ・フロー	2,991	1,642	1,349
投資活動による キャッシュ・フロー	△473	29	△502
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,505	△1,459	△45
現金及び現金同等物の 増減額	1,155	362	792
現金及び現金同等物の 期首残高	4,871	4,509	362
現金及び現金同等物の 期末残高	6,026	4,871	1,155

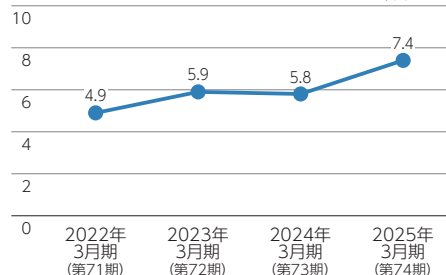
(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## CHECK POINT!

- クラウドサービス&サポート商品類のサブスクリプション型ビジネスの契約数増加やエレクトロニクス商品類の好調により増収増益
- 事業好調により上場来最高益を更新し、営業利益は前年同期比41.9%増となった。

### ● 営業利益率

(単位：%)



## CHECK POINT!

1 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が21億70百万円となる中、法人税等の支払額8億32百万円があった一方で、棚卸資産が16億55百万円減少したことなどで、前連結会計年度と比べ13億49百万円増加し、29億91百万円のプラスとなりました。

2 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出5億58百万円があったことなどにより、前連結会計年度と比べ5億2百万円減少し、4億73百万円のマイナスとなりました。

3 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払15億4百万円があったことなどにより、前連結会計年度と比べ45百万円減少し、15億5百万円のマイナスとなりました。

## ■ 会社概要

設 立	1952年3月
資 本 金 (2025年3月31日現在)	12億921万円
従 業 員 数 (2025年3月31日現在)	250名 (単体)、459名 (連結)
取引金融機関	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行
主 要 業 務	セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、メーリングシステム、ICタグ応用システム、防火システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス
ホームページ	コーポレートサイト： <a href="https://corp.takachiho-kk.co.jp/">https://corp.takachiho-kk.co.jp/</a> 製品サイト： <a href="https://www.takachiho-kk.co.jp/">https://www.takachiho-kk.co.jp/</a>

## ■ 事業所

本 社	東京都新宿区四谷1丁目6番1号 (YOTSUYA TOWER) Tel.03-3355-1111 (代)
大 阪 支 店	大阪市北区梅田3丁目3番20号 (明治安田生命大阪梅田ビル) Tel.06-6453-1610 (代)
名 古 屋 支 店	名古屋市中村区名駅南1丁目21番19号 (名駅サウスサイドスクエア) Tel.052-582-2915 (代)
札 幌 営 業 所	札幌市中央区北一条東1丁目4番地1号 (サン経成ビル) Tel.011-223-3552 (代)
九 州 営 業 所	福岡市博多区店屋町8番24号 (九勤呉服町ビル) Tel.092-271-6759 (代)
サ ー ビ ス 網	全国300ヶ所

## ■ 取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役社長 兼 社長執行役員	井 出 尊 信
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	植 松 昌 澄
社 外 取 締 役	串 間 和 彦
社 外 取 締 役	絹 川 幸 恵

## ■ 監査等委員である取締役

取 締 役 常 勤 監 査 等 委 員	辰 己 一 道
社 外 取 締 役 監 査 等 委 員	千 葉 彰
社 外 取 締 役 監 査 等 委 員	木 崎 孝

## ■ 執行役員

常 務 執 行 役 員	平 田 嘉 昭
常 務 執 行 役 員	市 川 大 輔
常 務 執 行 役 員	田 中 毅 則
執 行 役 員	高 山 博 喜
執 行 役 員	井 藤 政 樹

## ■ 主要な連結子会社

マイティキューブ株式会社	
事業内容	RFID関連機器及びICタグ、セキュリティシステムの開発・製造及び販売
TAKACHIHO KOHEKI (H.K.) LIMITED	
事業内容	電子部品、半導体、機構部品及び住宅収納ユニットの提案・販売
提凱貿易 (上海) 有限公司	
事業内容	電子部品及び機構部品の販売
Takachiho Fire, Security & Services (Thailand) Ltd.	
事業内容	セキュリティシステム、防火システムの輸入及び販売
Guardfire Limited	
事業内容	高度防火システムの設計・販売
Guardfire Singapore Pte. Ltd.	
事業内容	高度防火システムの設計・販売
Takachiho America, Inc.	
事業内容	機構部品の販売、商品及び事業リサーチ

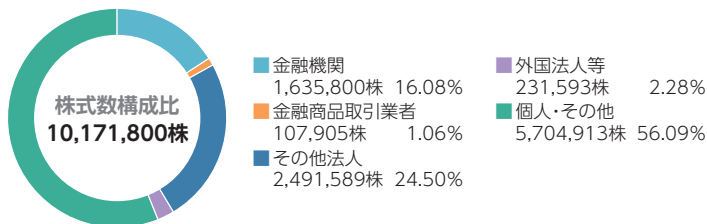
発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	10,171,800株
株主数	16,494名

## 大株主

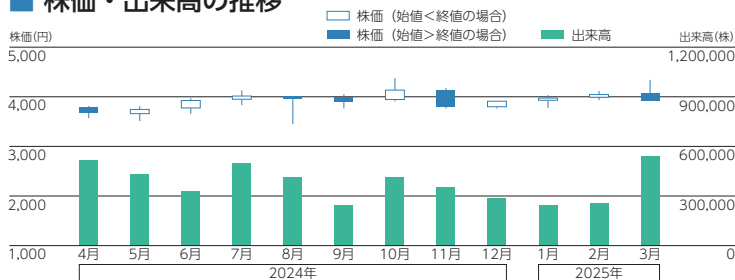
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社マースグループホールディングス	804,000	8.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	731,800	7.82
セコム株式会社	450,000	4.80
株式会社みずほ銀行	300,600	3.21
株式会社マーストーケンソリューション	265,000	2.83
明治安田生命保険相互会社	216,000	2.30
ヒューリック株式会社	200,000	2.13
高千穂交易奨学財団	200,000	2.13
高千穂交易従業員持株会	195,228	2.08
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	168,000	1.79

(注) 1. 当社は、自己株式814,866株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。なお、自己株式には役員向け株式給付信託に係る当社株式57,900株を含めておりません。また、持株比率は自己株式数を控除して算出し、小数第3位以下を切捨てて表示しております。  
2. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、731,800株であります。

## 株式分布状況



## 株価・出来高の推移



## 株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日  
受領株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711  
(通話料無料)
- 郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部

### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のホームページより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

インターネットアドレス：<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL  
<https://www.takachiho-kk.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
- 1単元の株式数 100株

## 第74回定時株主総会決議ご通知について

2025年6月26日開催の当社第74回定時株主総会において、第74期期末配当金は、当社の株主還元方針である配当性向100%に則り、普通配当98円、加えて中期経営計画達成の特別配当4円とし、1株につき102円と決定いたしましたので、同封の『期末配当金領収証』によりお支払いいたします。つきましては、払渡期間内（2025年6月27日から2025年7月31日まで）に、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

既に口座振込をご指定の方には、『期末配当金計算書』及び『配当金振込先ご確認』のご案内を同封いたしましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

なお、第74回定時株主総会において報告及び決議された内容の詳細につきましては、当社ウェブサイト(<https://corp.takachiho-kk.co.jp/ir/library/soukai/>)に掲載しておりますので、ご参照ください。

## 株式分割及び株主優待制度変更のご案内

2025年3月21日株式の分割と株主優待の変更を発表しました。

### 【株式分割】

新NISA(少額投資非課税制度)開始により投資家層の拡大が進むという状況を踏まえ、株式を分割し、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えることを目的として、2025年5月31日最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割しました。

### 【株主優待変更内容】

2025年3月期はお米ギフト券を同封しております。発表の通り2025年6月末日権利確定分より、現行のお米ギフト券から「高千穂交易プレミアム優待倶楽部」にて株主様の保有株式数に応じたポイント進呈に変更します。

### ■ 新株主優待制度について

- 権利確定日：毎年6月末日、12月末日(初回は2025年6月末日)
- プレミアム優待倶楽部サイト公開日：2025年8月上旬予定  
※登録方法については8月上旬にはがきにてご連絡致します。
- ポイント付与日程：  
8月上旬(6月末日権利確定分)2月上旬予定(12月末日権利確定分)  
プレスリリースURL：  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2676/tdnet/2583421/00.pdf>



〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目6番1号  
TEL 03-3355-1111 (代)  
URL <https://corp.takachiho-kk.co.jp/>



株主の皆さまの  
声をお聞かせください

コエキク

<https://koekiku.jp>  
アクセスキー



株主アンケートにご回答いただいた方の中から  
抽選で**500円**分のギフト券を  
プレゼント!

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

